

標準時間設定の基礎と 設定時間短縮法

自社にあった標準時間設定の粗さで、更なるレベルアップをめざす!!

日 時

2025年12月12日(金) 10:00~17:00

(9:30 受付開始)

※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会 場

日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム / オンライン(ZOOM)

講 師

添田 英敬 氏

株式会社MEマネジメントサービス
代表取締役 マネジメントコンサルタント

受講料

46,200円(資料含む、消費税込)

※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

受講効果

- 【1】ライン標準時間の考え方と設定方法を体系的に学ぶことができます。
- 【2】実務を意識した演習に取り組み、自社で標準時間設定を行う際のヒントが得られます。
- 【3】必要精度に応じた数パターンのライン標準時間設定手法が体得できます。
- 【4】本講座の手法を理解し、決めた手順通りに適正な速さでの作業につながります。

プログラム

1. 標準時間の概要

■標準時間の基礎を知る

- 1.1 なぜ標準時間が必要なのか
- 1.2 標準時間の用途
- 1.3 標準時間の定義と構成

■世界標準の代表的な作業ペース

- 1.4 速さの基準ハイタスクとロータスク

■設備・機械のあるべき姿を考える

- 1.5 設備に対する標準時間の考え方

2. 標準時間設定に必要なIE手法

■標準時間設定に必要なIEの基礎技術を知る

- 2.1 IE(インダストリアル・エンジニアリング)とは何か?
- 2.2 直接時間研究とレイティング
- 2.3 ワークサンプリング

■自社に適した標準時間の設定手法を考える

- 2.4 既定時間標準法(PTS法)

(演習) レイティング実践

3. 標準時間資料の基礎と作成法

■標準時間資料の基礎を知る

- 3.1 標準時間資料法の定義と特徴

■標準時間資料の作成方法を習得する

- 3.2 標準時間資料の作成手順と合成法
- 3.3 分析法による標準時間資料の作成法
- 3.4 余裕率の設定

(演習) 標準時間資料を用いた標準時間の設定

4. 標準時間設定のポイントと活用法

■パターン別に標準時間の設定法を理解する

- 4.1 ライン作業の標準時間設定法
- 4.2 機械の複数台持ち作業の標準時間設定法
- 4.3 さまざまな場合の標準時間の設定法
- 4.4 個別受注生産品に対する標準時間設定

■標準時間の維持と活用法を理解する

- 4.5 標準時間の管理と活用法

(演習) ライン作業の標準時間設定

(演習) 機械の複数台持ち作業の標準時間設定

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をメールで送付いたします。
※必ずメールアドレスをご記入いただきますようお願い申し上げます。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ(<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>)または、別紙申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

